



2019年4月6日
百合学院小学校
学校通信 4月号



光の子として歩みなさい。

(エフェソ 5章)

太陽の光を受けて桜が輝いていました。花びらはきれいな桜色です。神さまの光のうちに希望をもって成長していくことができるように、また一人ひとりが輝けるように、神さまの助けを願いましょう。

ご入学とご進級 おめでとうございます

校長 大石 温子

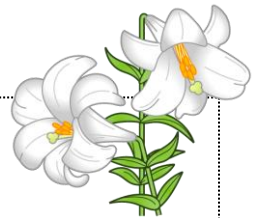
百合学院小学校は、カトリック世界観をバックボーンとした女子教育に取り組んでいます。女性は、温かく安定した家庭を築く母親として、また、深い教養と優しさを持って世の中に貢献できる社会人として、重要な存在です。そのような女性を育てるために、本校では、3つの豊かさを大切にしています。「**人との関わりを豊かに**」あいさつをはじめとして、互いのコミュニケーションを大切にしています。自分と違う他者を認め、受け入れます。「人からしてほしいと思うことを、人にしなさい」という聖書の「黄金律」に従い、思いやりや奉仕の心を身につけます。「**神との出会いを豊かに**」カトリックの学校で学ぶ子どもとして、一人ひとりが神様から大切にされていることを自覚し、感謝の心を持って、お互いを大切にします。「命」は神から授かった尊い恵みです。自分の命も人の命も大切にします。「**学ぶ力を豊かに**」「神から授かったタレント（能力）を伸ばし、それを他者のために生かすという使命（ミッション）」を念頭に置き、学力の向上に力を入れます。自分で考える姿勢を大切にしながら、全人的な成長を目指します。この3つの豊かさを基本にし、聖家族のマリア、ヨゼフの模範に倣い、温かく見守る家庭的な雰囲気大切に、「心の目」で見ることができる人間に育てます。「心の清い人は幸いである。その人は神を見る」というイエスの言葉のように「純潔」を大切に、「人の痛みや苦しみを見る目」をもって「愛徳」の実践に努めます。教育の実現のために、「児童」「保護者」「教職員」の三者のつながりを密にしながら、教育活動を展開していきたいと考えております。

カトリックの学校で学ぶ子どもたちが、神の恵みのうちに成長し、有意義な学校生活を送り、周りの人に喜びをもたらす人に成長することを願っています。教職員一同、「チーム百合小」を合言葉に一丸となって取り組んでまいります。保護者の皆様にもこの一年間、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

校長 大石 温子 Sr. 大枝 妙子 (宗教) 大西 正明 (法人事務局) 教頭 福中 千鶴

新任教諭

退任教諭



学校教育目標「自ら考え行動する子」

かしこく

- ・学んだことを確実に身につけ、活用する力をつける。
- ・主体的に学ぶ姿勢を身につける。(活動のめあて・ふり返り・調べ学習)
- ・コミュニケーションを通して、問題解決能力をつける。(学びあい)

正しく

- ・基本的な生活習慣を身につける。(挨拶、返事、手洗い、うがい等)
- ・主体的にルールの大切さを考え、守る。
- ・人を大切にし、思いやりの心で行動する。(正しい言葉づかい、振る舞い等)

清らかに

- ・祈りを通して、神の恵みに気づき感謝する。
- ・ミサや宗教的行事を通して、神の愛を知り、自他の存在を大切にする。
- ・神の御心にかなった行いを求め、奉仕する。(ボランティア活動)

お知らせ

■1年生は2学級編制です。

■冬帽子として、「ベレー帽」を着用(希望者のみ)します。詳細は、後日お知らせいたします。

新学習指導要領 2020年完全実施に向けて ～ 百合学院小学校の取り組み ～

■外国語教育の進め方について

本校では、小学校における外国語教育の実態を検証し、さらには中学校・高等学校へと系統立てた指導を構築する目的で、週に1時間5年生の英語学習に内橋先生が同室複数指導で入ります。「英語の百合」をより一層定着させ、さらなるレベルアップを図っていきます。

①小学校において、中学年に「外国語活動」を、高学年で「外国語科」を導入。②小・中・高等学校一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育との連携を図り、日本語の特徴や言語の豊かさに気づく指導の充実を図る。(改訂のポイントより抜粋)

■「特別の教科 道徳」について 本校では教科名は従来通り、「宗教」とし、これまでの「宗教」の授業の中に道徳的な観点を加えて指導します。(道徳の教科書を一部使用します。)評価は数値評価ではなく、児童の学びや成長の様子を文章表記でお知らせいたします。個人の道徳観や宗教観を評価するものではありません。(裏面に4月の行事予定を掲載しています。)